

タイト-110 TIGHT-110

ノンブリーディング膨張コンクリート用混和材

ノンブリーディング膨張コンクリート用混和材「タイト-110」は、主として土木・建築構造物の逆打ち・逆巻工法分野における充填コンクリート用混和材として開発された材料で、セメント系膨張材、発泡性膨張剤、鉱物質微粉末、ブリーディング抑制剤および特殊高性能減水剤等からなる灰白色の粉末製品です。

タイト-110は十分な品質・配(調)合・施工の管理下で、良質なセメント、細・粗骨材および水と共にミキサで均一に練り混ぜますと、優れた流動性と膨張性を有し、所要の強度ならびに耐久性を満足する充填コンクリートが経済的に得られます。

特長

1. 適切な品質および施工管理のもとに製造されたコンクリートは、ブリーディングがなく、また適度な粘性を有するため、材料分離の少ないコンクリートが得られます。
2. 優れた流動性が得られ、施工箇所のすみずみまで密実に充填できます。
3. 適度な膨張作用により初期から長期にわたって上部構造物と密着し、優れた水密性を保持します。
4. 適切な品質および施工管理のもとに製造されたコンクリートは、常に安定した所要の強度を発現します。
5. コンクリートの基本的物性並びに鉄筋の発錆には影響を及ぼしません。

用途

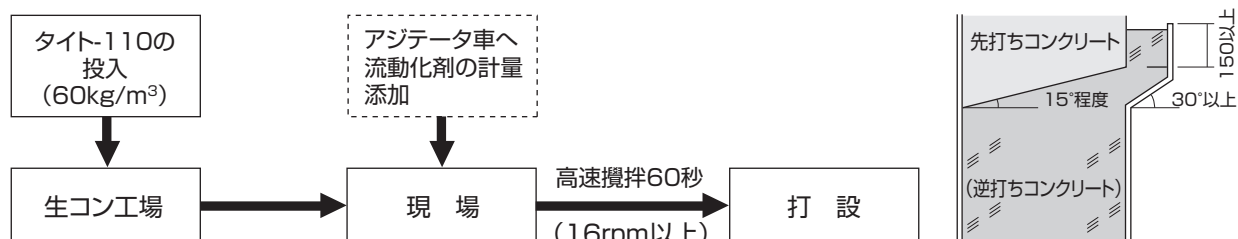
- 土木・建築構造物の逆打ち・逆巻き工法における充填コンクリート用
- PC版、PC桁の目地、開口部、端部等の後埋めコンクリート用
- 鋼管柱等の中詰めコンクリート用、その他

使用量

タイト-110の標準使用量は、コンクリート1m³当り外割で60kgです。
また、配(調)合の如何にかかわらず、1m³当り60kgを使用してください。

使用方法

1. タイト-110は混和材タイプの商品ですので、使用時には良質なセメント、細・粗骨材および水を準備してください。
2. タイト-110はレディーミクストコンクリート工場において、コンクリートの製造時に同時添加し、均一に練り混ぜてご使用ください。
3. セメント量は、最低260kg/m³以上使用してください。
4. タイト-110には初期膨張量の異なる6種類のタイプ(タイト-110A₁、A₂、A₃、A₄、A₅、A₆)があります。
初期膨張量を1.5%とする場合、気温が15℃以上の場合はA₃、15℃以下の場合はA₅が使用の目安となります。
5. タイト-110を用いたコンクリートの最適施工軟度は、スランプフロー値で40～60cm程度です。
なお、現場到着時のスランプフロー値が小さい場合は、流動化剤レオビルドNPシリーズを用いて調整してください。

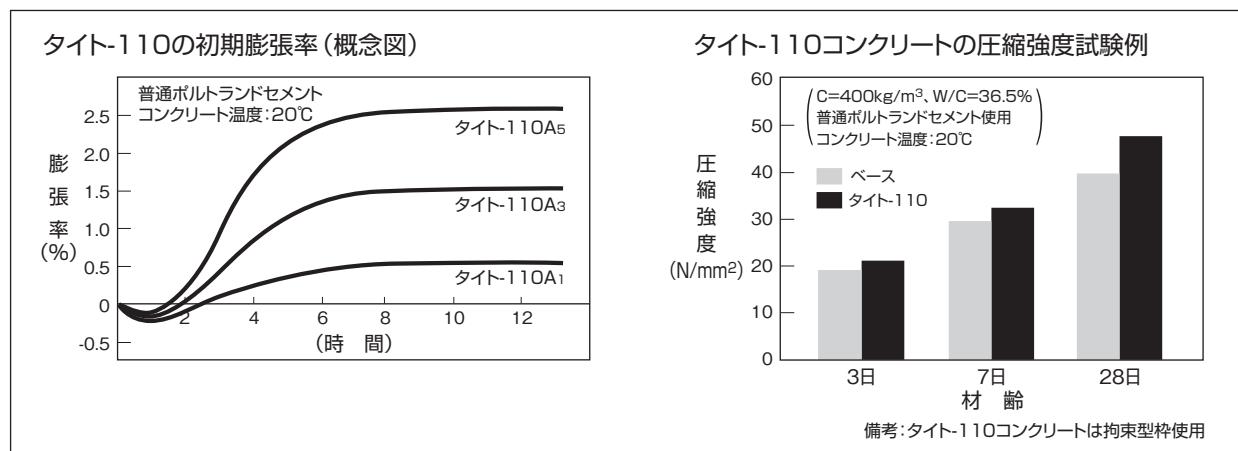


タイト-110コンクリートの配(調)合

MS (mm)	W/C (%)	s/a (%)	単位量 (kg/m ³)		使用量		スランブフロー(スランブ) (cm)	
			セメント	水	タイト-110 (kg/m ³)	レオビルドNP-20 (ℓ/C=100kg)	流動化前	流動化後
20	36.5	48.0	400	165	60	1.4	30.5 (19.5)	51.5 (24.5)

備考 1. ベースコンクリートは、ポゾリスNo.70を使用。(250mℓ/C=100kg)
2. タイト-110(密度:2.65)は、ベースコンクリートに外割で使用。

性能



使用上・施工上の注意事項

- タイト-110を用いたコンクリートの練り混ぜは、必ずミキサを用いて行い、セメントに続いてミキサ内に投入してください。
- タイト-110の初期膨張量は温度、セメントの種類、配(調)合その他の条件により変わりますので、施工の際には予め試し練りを実施し、膨張量を確認してください。
- タイト-110を用いたコンクリートは、ベースコンクリートに比べてスランブが8±2cm程度増加します。また、ベースコンクリートに比べて凝結時間が3時間30分~4時間(20℃の場合)程度遅延します。
- タイト-110の保管はセメントと同様に取り扱い、一度開封された商品はできるだけ早く使用してください。また吸湿したもの、あるいは長期間放置されていたものは使用しないでください。
- 本品の取り扱いに当たっては、セメントと同様保護眼鏡、ゴム手袋等を使用し、皮膚などに付着した場合はできるだけ早く水で洗浄してください。

包装形態

20kg防湿袋詰

※本商品についてのお問い合わせは、本社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポゾリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(社本金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolite.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませよう願ひ致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポゾリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

